

「ぐんま・県土整備プラン2020（仮称）」とは

2040年に目指す将来像の実現に向けて、道路や河川、砂防施設、県立公園、下水道、県営住宅など、社会資本の整備や維持管理を「どのような考え方で、どのように進めていくか」を示す県土整備分野の最上位計画

【計画の期間】

令和2年度（2020年）から令和11年度（2029年）までの10か年計画

社会資本整備を取り巻く変化の見直し

温室効果ガスによる地球温暖化（ぐんま5つのゼロ宣言）	加速する社会資本の老朽化
人口減少と高齢化の更なる進展	公共交通の衰退のおそれ
市街地の拡散と低密度化	社会資本整備と維持管理の担い手の減少
AI やIoT などの新技術の進展	コロナ後の「ニューノーマル」への移行
SDGs の理念に基づく、グローバルな視点からの地域課題の克服	

気候変動の影響等による気象災害の頻発化・激甚化

令和元年東日本台風による甚大な被害を踏まえた「群馬・気象災害非常事態宣言」の発出

見直しのポイント

気象災害の新たな脅威にしっかりと対応するため、ハード・ソフト一体となった防災・減災対策を加速



2040年に目指す将来像

災害に強く、安定した経済活動が可能な群馬県

誰もが安全・快適に移動でき、  
人と人、人と地域の繋がりを生み出す群馬県

地域に愛着や誇りを持ち、  
良好な社会環境のもとで持続的に暮らせる群馬県

将来像の実現に向けた「政策の方向性」

目指す将来像と現状のギャップと課題

- ① 気候変動の影響等により頻発化・激甚化する気象災害と増大する災害リスク
- ② 依然として気象災害の危険にさらされている多くの人命・財産
- ③ 災害の危険が迫っても、自ら逃げない・逃げられない住民
- ④ 重要交通網の寸断による社会的・経済的損失リスクの増大

- ① 加速する社会資本の老朽化
- ② 社会資本ストックの増加による日常点検・維持管理更新業務の増大

- ① 公共交通の衰退など自動車を使えない県民の移動手段の減少
- ② 物流ニーズの変化と周遊性の低い広域観光
- ③ 人口減少の進展により市町村単独での維持が困難になる医療、福祉、商業などの生活に必要な都市機能
- ④ 全国ワースト上位の交通人身事故発生件数

- ① 市街地の拡散と低密度化による行政コストの増大とコミュニティの希薄化
- ② 空き家・空き地の増加などによる生活環境の悪化と地域の魅力の低下

- ① 失われつつある群馬の自然
- ② 遅れている水質環境の改善
- ③ 進行する地球温暖化

- ① 就業者の減少や高齢化が進行する建設産業

今後10年間の政策の方向性

【災害レジリエンスNo.1の実現】

本県を襲った令和元年東日本台風をはじめ、近年、気候変動の影響等により、水害等の気象災害が頻発化・激甚化する中で、気象災害の新たな脅威にしっかりと対応できる「災害レジリエンスNo.1」の実現に向け、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策を加速させる

【持続可能で効率的なメンテナンス】

厳しい財政状況の中、社会資本の老朽化や劣化を原因とする事故を防ぎ、県民の安全・安心な生活を守るとともに、メンテナンスに係るトータルコストの中長期的な縮減、平準化を図るため、持続可能で効率的なメンテナンスを推進する

【多様な移動手段の確保】

人口減少と高齢化の更なる進展による交通需要の変化に対応した「誰もが安全で快適に移動できる社会」の実現に向けて、多様な移動手段を確保するための取組を推進する

【住み続けられるまちづくり】

人口減少と高齢化が同時に進行する局面でも、誰もが生活に必要なサービスを持続的に享受できるよう、効率的で快適なまちづくりの促進に向け広域な観点からの市町村のまちづくりを支援する

【美しく良好な環境の保全】

将来の県民に良好な環境を引き継ぐため、「自然環境の保全」や「健全な水循環の維持・回復」を推進するとともに、温室効果ガスの排出量実質「ゼロ」を目指し地球温暖化対策を推進する

【社会資本の整備と維持管理の担い手の確保・育成】

社会資本の整備と維持管理の担い手であるとともに、地域の安全・安心の守り手として欠くことができない建設産業の健全な発展に向け、働き方改革や現場の生産性の向上、さらには魅力の発信に取り組み、担い手の安定的かつ持続的な確保・育成を支援する

将来像の実現に向けた「新たな視点」

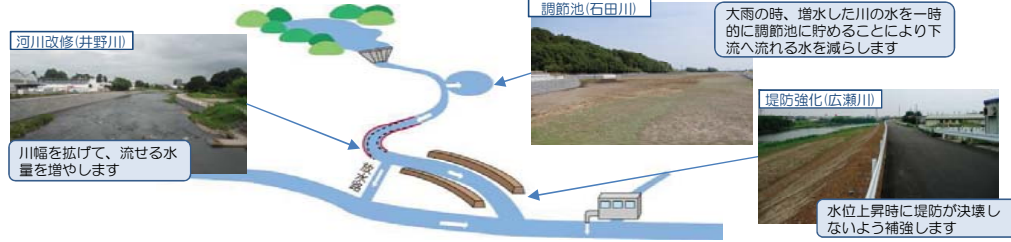
2050年に向けた「5つのゼロ宣言」 群馬・気象災害非常事態宣言  
ぐんまSDGsイニシアティブ ～SDGs先進県に向けた決意宣言～



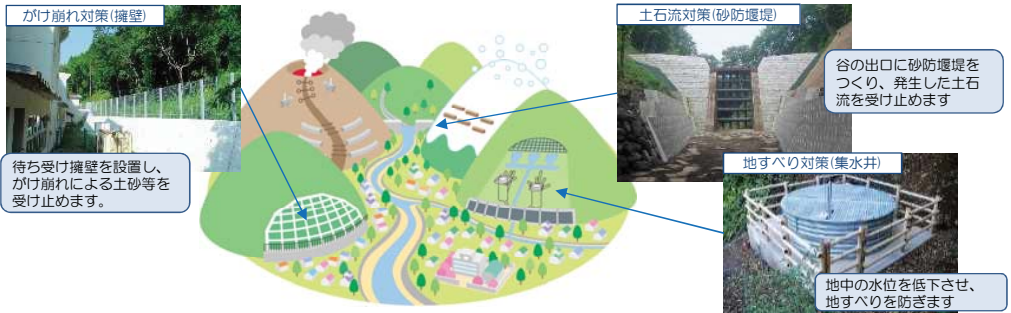
# ぐんま・県土整備プラン2020（仮称）【原案】の概要について（3）

## 施策3 防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

### 取組1 水害リスクを軽減させる防災インフラ整備

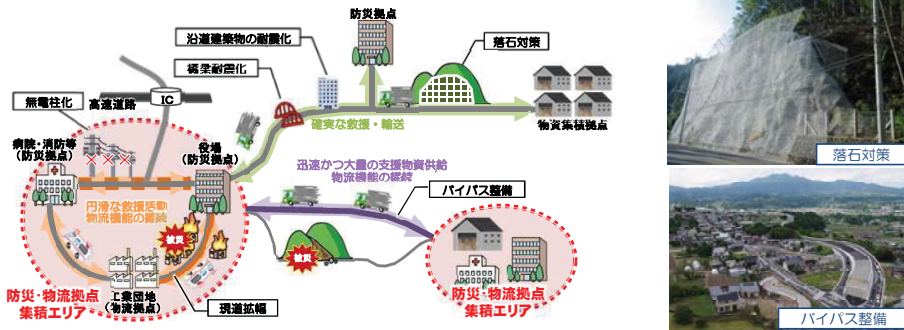


### 取組2 土砂災害リスクを軽減させる防災インフラ整備



### 取組3 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの構築

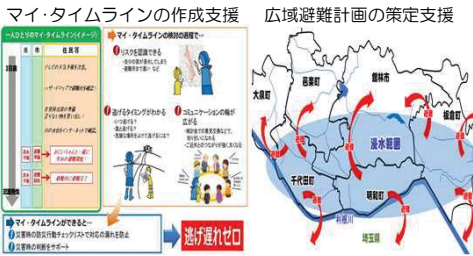
災害時に重要な役割を担う緊急輸送道路等の強化（災害時の物流・人流機能の維持）



	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
<b>取組1 水害リスクを軽減させる防災インフラ整備</b>	<b>「人口・資産が集中する地域」の水害リスクを軽減させる河川整備</b>									
寺沢川、丹生川（下流工区）、山田川 河川改修										
蚊沼川 放水路整備										
男井戸川 河川改修										
多々良川 河川改修										
烏川（下流工区）河川改修										
烏川（上流工区）河川改修										
休泊川（下流工区）河川改修										
休泊川（上流工区）河川改修										
碓氷川（高崎工区）河川改修										
碓氷川（安中工区）河川改修										
利根川（伊勢崎・玉村工区）河川改修（堤防高上げ等）										
利根川（伊勢崎市・玉村工区）河川改修										
大川（下流工区）河川改修										
大川（上流工区）河川改修										
聖川（中流）（1工区）河川改修										
聖川（中流）（2工区）河川改修										
井野川 河川改修										
井野川 調節池整備										
新堀川 導水路整備										
新堀川 河川改修										
堤防強化	決壊を防ぐための堤防強化									
<b>取組2 土砂災害リスクを軽減させる防災インフラ整備</b>	<b>土砂災害が発生した地域の再度災害防止</b>									
要配慮者利用施設や避難所を守る施設整備（井土沢、千石沢3ほか 73箇所）	頻発化する豪雨に対応する砂防堰堤等の機能の維持・回復									
著しい人家への被害、多くの人家への被害のおそれのある地域を守る施設整備（東ノ入沢、房坂川ほか 68箇所）										
<b>取組3 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの構築</b>	<b>防災・物流拠点集積エリア間を結ぶ強靱な道路ネットワークの構築</b>									
吾妻西バイパス	【上信自動車道】	吾妻東バイパス	吾妻バイパス2期	長野原嬉恋バイパス						
安中工区	高崎西工区	【西毛広域幹線道路】	高崎工区、高崎安中工区、安中富岡工区							
<b>防災・物流拠点集積エリア内の主要拠点を結ぶ強靱な道路ネットワークの構築</b>										
笠懸郡塚工区	【渡良瀬幹線道路】	塩原工区	新里笠懸工区							
3期工区	2期工区	4期工区	【県道南新井橋線バイパス】							
前橋玉村線バイパス 朝倉工区	高崎神流秩父線バイパス 矢田工区	植葉伊勢線 現道拡幅								
無電柱化										
<b>県を超えた広域的な連携を強化する強靱な道路ネットワークの構築</b>										
落石対策（第1次緊急輸送道路）	（第2次緊急輸送道路）	（第3次緊急輸送道路）								

## 施策4 避難のサポート（中長期レジリエンス戦略）

### 取組1 水害による「逃げ遅れゼロ」に向けた避難行動の促進



### 取組2 土砂災害による「逃げ遅れゼロ」に向けた避難行動の促進



	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
<b>取組1 水害による「逃げ遅れゼロ」に向けた避難行動の促進</b>	<b>要配慮者利用施設への避難支援</b>									
個人の避難行動計画（マイ・タイムライン）の作成支援・広域避難計画の策定支援	邑楽館林地域の検討 他地区へ展開（邑楽館林地区の検討を受けて、他地区へ展開）									
<b>取組2 土砂災害による「逃げ遅れゼロ」に向けた避難行動の促進</b>	<b>土砂災害警戒区域等の見直し</b>									
						2巡目				4巡目
<b>要配慮者利用施設への避難支援</b>										
住民主体の防災マップの作成や実動避難訓練の支援										

# ぐんま・県土整備プラン2020（仮称）【原案】の概要について（4）

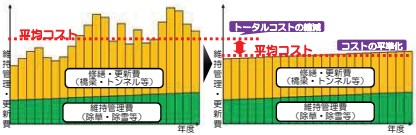
## 政策2 持続可能で効率的なメンテナンス



### 施策1 予防保全に基づく長寿化

#### 取組1 計画的な長寿化の推進

長寿化計画に基づく維持管理・更新費用のトータルコストの縮減と平準化



### 施策2 効率的な維持管理

#### 取組1 行政が実施する維持管理



#### 取組2 地域住民主体の維持管理



#### 取組3 民間の力を活用した維持管理



R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

- 計画的な長寿化の推進（道路施設、道路橋、河川構造物、砂防関係施設、都市公園、下水道施設、県営住宅、ヘリポート）
- 行政が実施する維持管理（道路パトロール及び伐木・除草、除雪 河川巡視及び伐木・除草）
- 地域住民主体の維持管理（道路除草・河川除草）
- 民間の力を活用した維持管理
  - 指定管理者制度の導入（県立都市公園、群馬ヘリポート）
  - 包括的民間委託の導入（水質浄化センター）
  - Park-PFIの導入（県立都市公園）

## 政策3 多様な移動手段の確保



### 施策1 公共交通網の整備・維持

#### 取組1 地域的な暮らしの足の確保

新たな移動手段の確保（相乗りタクシー）



#### 取組2 基幹公共交通軸の確保・維持

バスロケーションシステムの導入



#### 取組3 新技術を活用した効率的で持続可能な移動手段の確保

自動運転技術の開発・普及



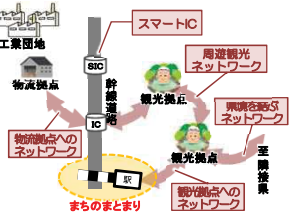
R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

- 取組1 地域的な暮らしの足の確保
  - 新たな移動手段の確保
- 取組2 基幹公共交通軸の確保・維持
  - まちのまとまりをつなぐ公共交通の確保・維持（鉄道・バス）
- 取組3 新技術を活用した効率的で持続可能な移動手段の確保
  - 自動運転技術の開発・普及

### 施策2 自動車交通網の整備

#### 取組1 物流の効率化と観光振興を支える道路ネットワークの構築

物流・人流ネットワークの構築（平時の物流・人流機能の向上）



#### 取組2 まちのまとまりをつなぐ道路整備

まちのまとまりをつなぐ道路



#### 取組3 生活を支える道路整備

交差点改良（右折レーン設置）



R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

- 取組1 物流の効率化と観光振興を支える道路ネットワークの構築
  - 経済活動を支える物流・人流ネットワークの構築
  - 高速道路ネットワークのストック効果を最大限に活用するスマートIC整備・機能強化
  - 「人・モノ・情報」を呼び込む隣接県との道路ネットワークの整備・強化
- 取組2 まちのまとまりをつなぐ道路整備
  - まちのまとまりをつなぐ道路整備
- 取組3 生活を支える道路整備
  - 生活を支える道路整備

### 施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備

#### 取組1 子どもたちが安心して通学できる環境の整備

通学路の歩道整備



#### 取組2 中高生が安心して通学できる環境の整備

自転車通行空間の整備



自転車ヘルメットの着用促進



#### 取組3 高齢者が安心して外出できる環境づくり

高齢者交通安全教育



R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

- 取組1 子どもたちが安心して通学できる環境の整備
  - 学校関係者・地元住民による通学路の合同点検、通学路の歩道整備
- 取組2 中高生が安心して通学できる環境の整備
  - 自転車通行空間の整備、ヘルメット着用の促進、中高生を対象とした交通安全教育
- 取組3 高齢者が安心して外出できる環境づくり
  - 高齢者を対象とした交通安全教育

## 政策4

### 住み続けられるまちづくり



#### 施策1 適正な土地利用によるまちのまとまりの維持

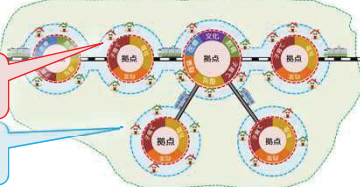
##### 取組1 居住と都市機能集積の促進

立地適正化計画による「都市機能誘導区域・居住誘導区域」の指定促進

**立地適正化計画区域**  
＝都市計画区域

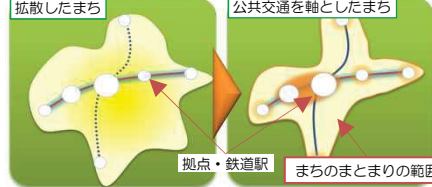
**都市機能誘導区域**  
医療・福祉・商業など都市機能を誘導し集約することにより、各種サービスの効率的な提供を図る区域

**居住誘導区域**  
一定の人口密度を維持し、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域



##### 取組2 公共交通を軸としたまちづくり

鉄道駅周辺や基幹バス路線沿線への立地誘導



R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

##### 取組1 居住と都市機能集積の促進

立地適正化計画による「都市機能誘導区域・居住誘導区域」の指定促進

頻発化・激甚化する気象災害に対応する安全な「まちのまとまり」づくり

公共施設・空間の新たな活用による「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の創出

##### 取組2 公共交通を軸としたまちづくり

鉄道駅周辺や基幹バス路線沿線への立地誘導

#### 施策2 良好なまち並みと快適な住まいづくり

##### 取組1 地域の誇れる景観づくり

景観まちづくりへの支援



##### 取組2 安全で快適な居住環境づくり

土地区画整理



空き家対策（空き家の利活用）



R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

##### 取組1 地域の誇れる景観づくり

景観まちづくりの支援

地域の特性に応じた屋外広告物の規制誘導

##### 取組2 安全で快適な居住環境づくり

快適な生活空間の整備

空き家対策の総合的な推進、災害に強い安全な住まいづくり

## 政策5

### 美しく良好な環境の保全



#### 施策1 豊かで美しい自然環境の保全・再生

##### 取組1 良好な河川環境の保全・形成

多自然川づくり



##### 取組2 多様な生態系の保全・復元

地域住民と連携した自然再生の取組



R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

##### 取組1 良好な河川環境の保全・形成

多自然川づくりの推進

##### 取組2 多様な生態系の保全・復元

希少野生動植物に配慮した河川改修、自然再生に向けた取組

#### 施策2 健全な水循環の維持・回復

##### 取組1 地域の特性を踏まえた污水処理人口普及率の向上

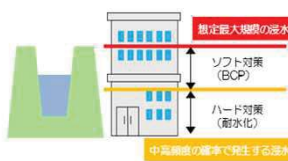
効率的・効果的な污水処理施設の整備



合併処理浄化槽への転換促進



下水道施設の耐水化



R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

##### 取組1 地域の特性を踏まえた污水処理人口普及率の向上

下水道と合併処理浄化槽のベストミックスによる効率的・効果的な整備の推進、合併処理浄化槽への転換促進

污水処理における広域化・共同化

下水道機能維持のための下水道施設の耐水化等の推進

BCP見直し 耐水化計画策定 下水道施設耐水化（受変電設備、ポンプ設備等） 下水道施設耐水化（沈殿設備等）

#### 施策3 地球温暖化対策の推進

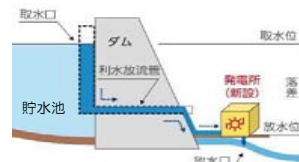
##### 取組1 スマートムーブの促進

モビリティ・マネジメントの推進



##### 取組2 再生可能エネルギー等の利活用の推進

ダム水利放流を活用した小水力発電



下水道が有する再生可能エネルギーの利活用



R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

##### 取組1 スマートムーブの促進

自転車を利用しやすい通行空間の整備

モビリティ・マネジメントの推進

##### 取組2 再生可能エネルギー等の利活用の推進

ダム水利放流を活用した小水力発電、下水道が有する再生可能エネルギーの利活用

## 社会資本の整備と維持管理の担い手の確保・育成

### 方策1 建設産業の働き方改革

- 取組1 長時間労働の是正
- 取組2 現場の処遇改善



### 方策2 建設現場の生産性向上

- 取組1 ICT建設機械による施工 「建設現場のWeb監督」の導入



- 取組2 基準や施工方法の改善による生産性向上 群馬県型側溝承認
- 取組3 施工時期の平準化 月当たり施工量の平準化



### 方策3 建設産業の魅力の発信

- 取組1 多様な広報の展開



- 取組2 リブランディングの推進



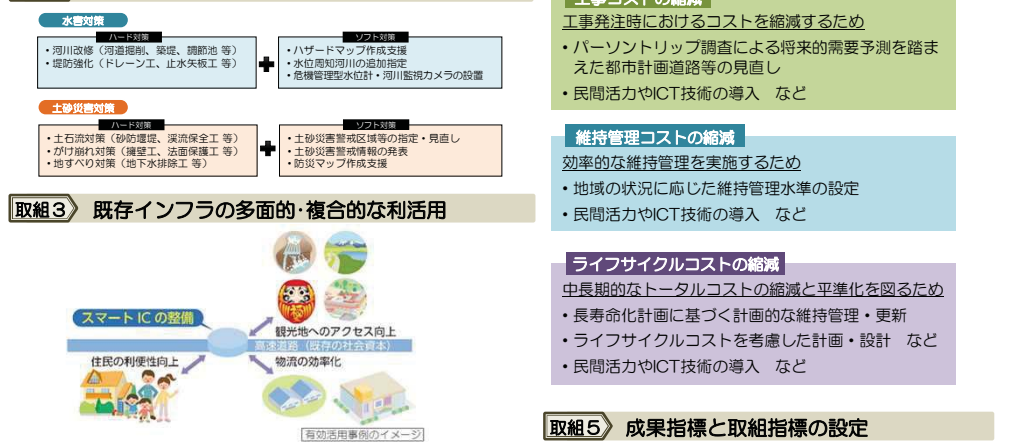
## 計画の推進に当たって

### 方策1 選択と集中による効率的・効果的な事業の推進

限られた予算の中で、2020年を目指す将来像の実現に向けて、5つの政策を着実に推進し、様々な課題を解決するため、「選択と集中」により社会資本整備の効果の最大化を図りながら、計画的かつ効率的・効果的な社会資本整備を推進します。

### 方策2 社会資本のストック効果の最大化

- 取組1 既存の社会資本の計画的な維持管理・更新
- 取組2 ハード・ソフトが一体となった取組を推進
- 取組3 既存インフラの多面的・複合的な利活用
- 取組4 総合的なコスト削減の取組
- 取組5 成果指標と取組指標の設定



### 方策3 県民等とのパートナーシップの強化

- 取組1 地域ニーズを的確に反映した社会資本整備の推進
- 取組2 多様な主体との連携によるまちづくり



### 方策4 Society5.0の実現に向けたDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

- 取組1 I-Constructionの推進
- 取組2 スマートシティの促進



### 方策5 わかりやすい情報発信による県土整備行政の見える化

- 取組1 社会資本整備の見える化
- 取組2 わかりやすい広報の展開
- 取組3 事業の完成予定年度等の公表による民間投資や企業誘致の促進
- 取組4 ぐんまのブランド力を向上させる社会資本整備

### 方策6 県土整備プランを実効性のあるものとするために

- 取組1 成果の検証と継続的な取り組み方の改善
- 取組2 公共事業評価の実施